

2023 年 9 月 6 日

各 位

上 場 会 社 名 日本情報クリエイト株式会社  
代 表 者 名 代表取締役社長 米津 健一  
(コード番号：4054 東証グロース)  
問 合 せ 先 取締役管理部長 瀬之口 直宏  
(TEL.0986-25-2212)

## 2023 年 6 月期 決算に関する質疑応答集 2

当社の 2023 年 6 月期 決算に関して、発表以降に株主、投資家などの方々からいただいたお問い合わせ、感想についてその内容と回答について、以下の通りお知らせいたします。なお、本開示は、市場参加者の皆様のご理解を一層深めることを目的に当社が自主的に実施するものであります。

**Q1：前期は、下期以降の営業戦略見直しで、業績が回復基調というご説明でしたが、今期、約 20% 増収、営業利益 2.1 倍以上のご計画について、その業績拡大の要因を今一度詳しく教えてください。また、計画達成の自信についてコメントをください。**

A: 前期も着実にストックを積み上げることができました。解約率も低く、今後も安定した収益につながっていきます。加えて今期も前期以上に多くストックを積み上げて参ります。この計画を達成し、売上・利益ともにさらに伸ばしていきたいと考えております。計画達成については、今回発表したものは精微に社内検証いたしました、達成に向けて着実に進めてまいります。

**Q2：今期、利益率が回復される計画です。利益率回復の理由を教えてください。**

A: これまで営業体制強化や商品強化、M&A など積極的な投資をおこなってまいりました。今期はその投資を活かした事業成長の年となります。今期は人件費などの販管費の抑制に加え、原価も大幅な増加の見込みはございません。トップライン（売上高）については着実に伸ばしていきますので、結果的に利益が増加する予定です。

**Q3：月額有償サービスの利用顧客数について、当期の計画進捗率が 110% となり、対前期比においても 517 事業所の増加と大きく伸びております。昨年の改正宅地建物取引業法の施行から 1 年経ちましたが、利用顧客数は今後も同様に増加していくのでしょうか、それとも伸びが鈍化していくのでしょうか。御社の考えについて教えてください。**

A: 不動産業界における労働人口不足や就労者の高齢化、法改正に伴う流れも追い風に、全体的に伸びていくと考えております。また、不動産のマーケット自体は大きく、当社は無償サービスも含めてプロダクトが充実しておりますので、営業やインサイドセールスなどを強化することで、利用顧客数の増加を図っていきたいと考えております。

以上